

2015年6月9日
マレーシア政府観光局

報道関係者各位

マレーシア観光セミナーを東京・名古屋・福岡で開催 ロングステイ希望滞在国：マレーシア 9年連続首位獲得



マレーシア政府観光局（東京支局：東京都千代田区、東京支局長：ノール・アズラン 及び 大阪支局：大阪府大阪市、大阪支局長：スハイミ・シャハルディン）は、マレーシア政府観光局本局 より、ダト・ミルザ・モハマッド・タイヤブ総局長を迎え、2015年6月3日（水）～5日（金）に2015年度観光プロモーションセミナーを開催いたしました。今回の観光セミナーでは、今年の観光プロモーションテーマである「イヤー・オブ・フェスティバル 2015」にちなんで、多民族国家のマレーシアならではの年間 200 以上行われる多様な文化的、宗教のお祭りやイベントについて代表的なものをご紹介するとともに、最新の現地情報や、文化・自然遺産などの豊富な観光資源の魅力、今後メディア露出情報などをご紹介しました。マレーシアにはマレー、中国、インド系、先住民という主な民族グループが存在していますが、厳密にはマレー半島とボルネオ島を合わせると 84 の言語と 183 の民族があると言われており、それぞれ独自の言語や宗教を持ちながら、互いの宗教や文化、習慣を認め合い、平和に共生している、まさに世界を代表する多民族国家といえます。

今回来日したダト・ミルザ・モハマッド・タイヤブ総局長は、マレーシアが 9 年連続でロングステイ希望国の第 1 位に選ばれたこと（ロングステイ財団による調査）を発表するとともに、以下のように語りました。「おかげさまで、昨年マレーシアは世界から 2740 万人の渡航者数を記録し、そのうち 553,106 名（対前年比 7.8%増）の日本人のお客様をお迎えすることができました。このような高いプラス成長を実現できたのは、ひとえに皆様のご支援とご協力の賜物であり、深く感謝申し上げます。一方、2015年1月から3月は、世界経済の低迷、円安、フライトの座席数減少などの影響により、日本からマレーシアへの渡航者数は-16.4%と減少しておりますが、日本のことわざ「継続は力なり」とおり、引き続きマレーシアの多様性の魅力にフォーカスした観光プロモーションに力を入れていくことで、この数字をプラスに変えていけると信じています。」

9年連続ロングステイ希望国1位に <2014年度ロングステイ先>

このたび、ロングステイ財団による「ロングステイに関する意識調査」で、マレーシアが、ロングステイをしたい希望国の1位に9年連続で選ばれました。トップ10の順位は下記の通りです。

順位	国・地域名
1	マレーシア
2	タイ
3	ハワイ
4	オーストラリア
5	カナダ
6	ニュージーランド
7	シンガポール
8	アメリカ本土
9	フィリピン
10	インドネシア



マレーシアの安定的な人気の理由は、受入れのための査証プログラム「マレーシア・マイ・セカンドホームプログラム（MM2H）」制度の充実、穏やかな国民性、日中の平均気温が27-33度（年間）という過ごしやすい気候、治安の良さ、物価の安さ、医療水準の高さ、英語が共通言語として通じること、食事も日本人の口に合うものが多いことも理由に挙げられます。滞在者が日本国籍を保有している場合、観光・商用目的で90日以内の滞在はビザが不要なため、中長期間の滞在条件が比較的緩やかです。また、長期滞在の場合、最長10年（更新可能）のMM2H（マレーシア・マイ・セカンド・ホーム）のビザ取得が可能です。（*MM2Hの詳細は以下参照。）

海外のロングステイの人気の高まりの背景には、ライフスタイルが多様化し、人々の「生き方」に関する考えが柔軟になってきたことがあります。働く国・地域、得た収入を運用する国・地域、趣味を楽しむ国・地域、子育てや病気療養・介護に適した国・地域等、個人のライフスタイルに合わせて国の壁を越え人生設計を考える時代（マルチハビテーション時代）を迎えているのです。

参考資料

◆一般財団法人ロングステイ財団とは

1992年に通商産業省（現：経済産業省）の認可を受け設立された公益法人。主たる業務はロングステイに関わる啓蒙・啓発、調査、研究、サービス・サポートを行っています。

URL: <http://www.longstay.or.jp/>

◆「ロングステイ」とは

海外ロングステイとは、「生活の主たる源泉を日本に置きながら海外の一箇所に比較的長く滞在し（2週間以上）その国の文化や生活に触れ、現地社会での貢献を通じて国際親善に寄与する海外滞在型余暇」を意味します。

◆長期滞在ビザ 概要について

MM2H（マレーシア・マイ・セカンド・ホーム、通称エムエムツーエイチ）ビザとは、マレーシア政府によって推進されている長期滞在ビザです。年齢制限や宗教上の制限もなく、申請条件をクリアすればどなたでも取得できます。MM2Hを取得するとマレーシア政府より10年間の長期滞在が許可され、10年後以降の更新も可能です。

名称	マレーシア・マイ・セカンド・ホーム (MM2H)
期間	10年 (更新可)
対象	マレーシアと国交のある国の国民
年齢	年齢制限なし
条件	50歳以上の場合 ●35万リンギット (約1,155万円) 以上の金融資産 (銀行預金、有価証券など) かつ、月1万リンギット (約33万円) 以上の所得 ●マレーシアの銀行で15万リンギット (約495万円) の定期預金
	50歳未満の場合 ●50万リンギット (約1,650万円) の金融資産と月1万リンギット以上の所得 ●マレーシアの銀行で30万リンギット (約990万円) 以上の定期預金

★申請者は、配偶者、21歳未満の未婚の子供、60歳以上の申請者の両親を扶養家族として同行させることができます。

★1リンギット=33円で換算

MM2H ビザについては、詳細は下記をご確認ください。

*マレーシア政府観光局 URL

http://www.tourismmalaysia.or.jp/long/long_5.html

*MM2H センターURL

<http://mm2h.gov.my/index.php/en/>

マレーシア政府観光局について

マレーシア政府観光局は、マレーシアの観光文化省下に帰属し、あらゆるレベルでマレーシアの観光プロモーションを行うことに特化した政府機関です。当機関が設立された当初から、国際ツーリズムのシーンにおいて飛躍的な発展を遂げてきました。2014年、マレーシアは全世界から2,740万人の観光客、720億リンギット (約2兆3,760億円) の歳入、世界第10位の観光地としての人気を誇っています。「イヤー・オブ・フェスティバル 2015」 (略してマイフェス) を迎える2015年は、「エンドレス・セレブレーション」をテーマに多民族国家ならではの様々な文化に基づいたフェスティバルにフォーカスをあてて参ります。マレーシア政府は、2020年までの目標として、3,600万人の観光客と、1,680億リンギット (約5兆7,082億円) の歳入実現を掲げています。これは、経済変革プログラム (高所得を生み出す可能性の高い12の主要経済分野) (NKEA) のうち、マレーシア観光改革2020 (MTTP) に組み込まれています。「観光」も上記12の主要経済分野に含まれていますが、中でも5つの出発点プロジェクト (Entry Points Projects = EPP) 選定しています。EPPは、高い乗数効果によって速く大きな成果を生み出す可能性のある象徴的なプロジェクトのことを指し、手の届く贅沢品 (ショッピング)、自然および冒険、家族向け娯楽、イベント、エンターテインメント、スパおよびスポーツ、ビジネス観光の5つのテーマごとにわかれています。

- マレーシア政府観光局公式サイト (日本語)
www.tourismmalaysia.or.jp/
- マレーシア政府観光局公式 Facebook
www.facebook.com/tourismmalaysia.japan
- 2014年マレーシア・トゥルーリー・アジア・プロモーションビデオ
<https://www.youtube.com/watch?v=8O7dx8n99Cs#t=14>
- 2015年イヤー・オブ・フェスティバル 公式テーマソング
http://myfest2015.com.my/download/LAGU%20MyFEST2015-07_Naga.mp3

プレスの方からのお問合せ先：キャンドルウィック株式会社 中尾・橋爪

Tel: 03-3498-2770 / Fax: 03-3498-2771 E-mail : press@candlewick.co.jp

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 5-6-4 Path OMOTESANDO C-3F